

《症例報告》

^{111}In -oxine による標識血小板シンチグラフィおよび
 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HSA-D シンチグラフィが有用であった
Kasabach-Meritte Syndrome を呈した前縦隔内血管腫の 1 例

浅野 雄二* 石井 勝己* 鷺内 隆雄* 菊池 敬**
神宮司公二** 太田 幸利** 早川 和重*

要旨 原因不明の血小板減少を呈した 12 歳の女兒に対し， $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HSA-D による血液プールシンチグラフィと ^{111}In -oxine による血小板シンチグラフィが施行され，本症例の血小板減少が前縦隔内の血管腫による Kasabach-Meritte syndrome が示唆された．血管腫の部位診断，病態の把握および治療方針の決定において， $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HSA-D による血液プールシンチグラフィと ^{111}In -oxine による血小板シンチグラフィが，非常に有用であったので報告する．

(核医学 40: 445-449, 2003)